

依頼試験、開放設備機器利用の紹介

岐阜県生活技術研究所では、
製品の品質や安全性に関わる様々な試験を通して
地場産業の支援を行っています。

研究所で実施している主な依頼試験と開放設備機器利用について各パネルで紹介します。
この他にも実施している試験がありますので、お気軽に職員までお問い合わせください。

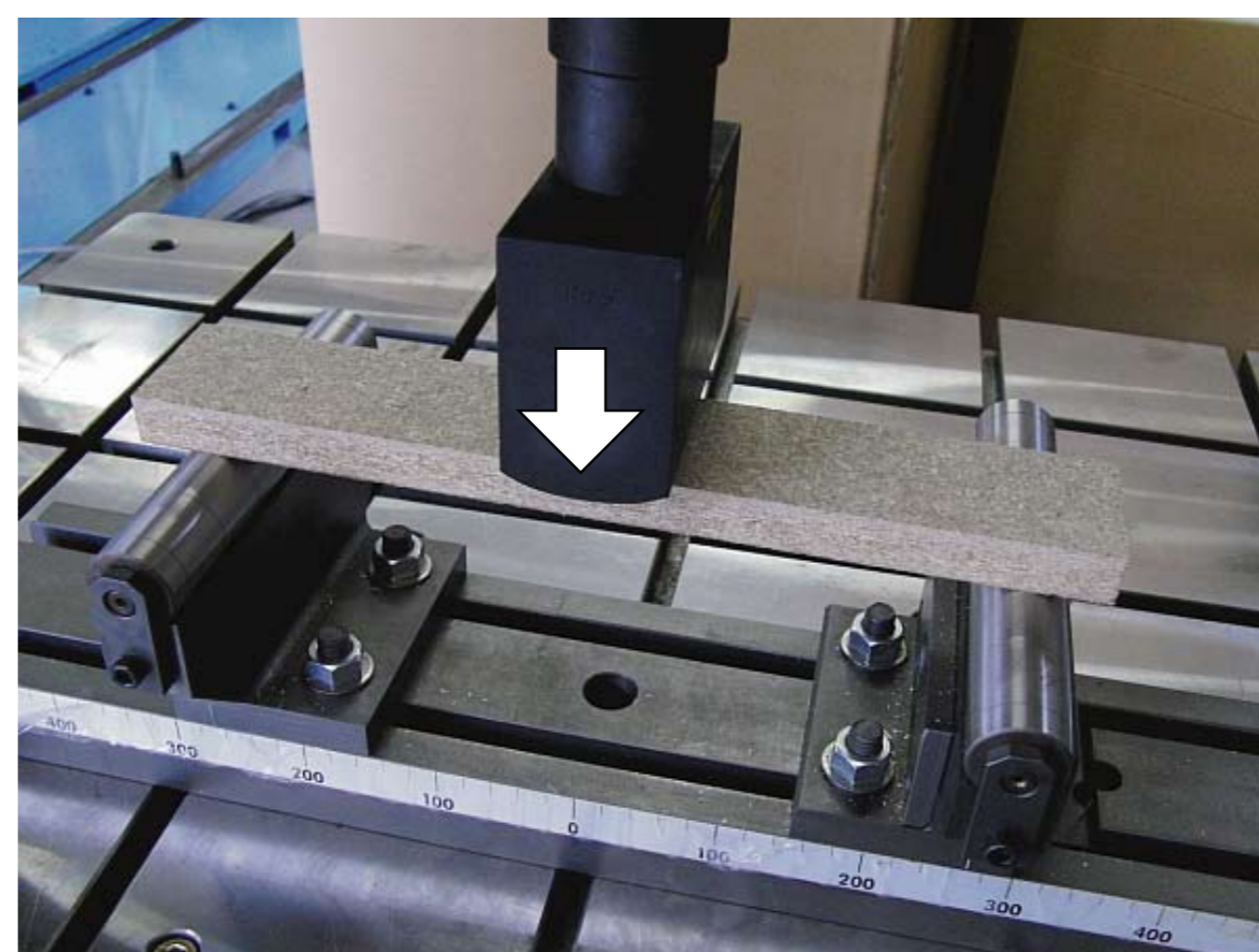
■ 木材・木質材料の試験

木材・木質材料の強度や寸法変化、ホルムアルデヒド放散量などの試験を行っています。

強度試験機を用いた各種強度試験

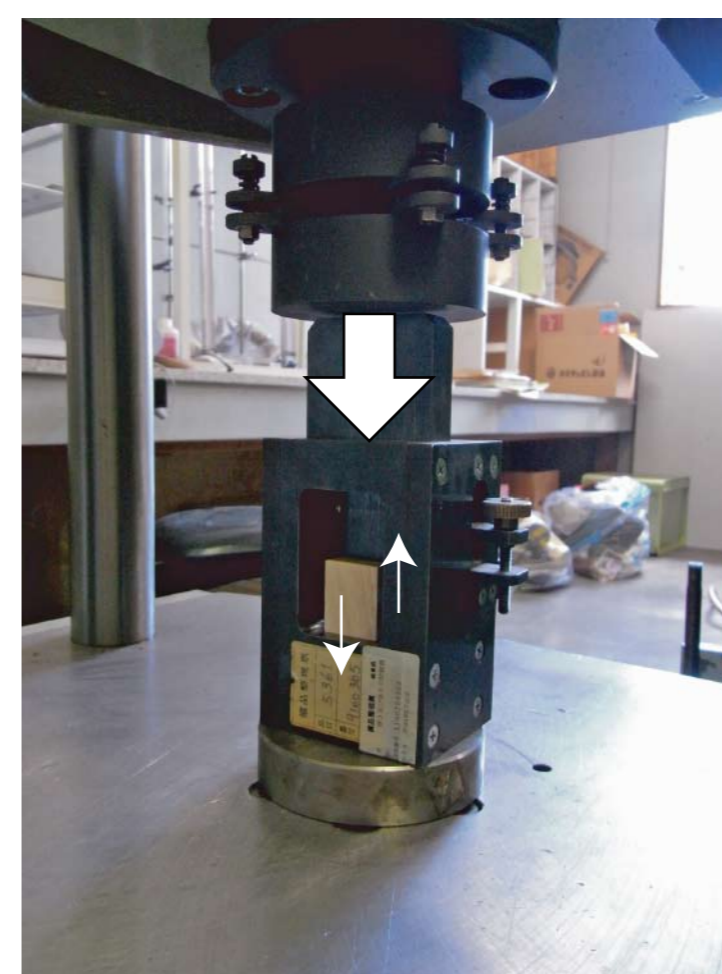


強度試験機



曲げ試験

試験体に曲げ荷重を加え、試験体が破壊するまで試験を行い、曲げ強さおよび曲げヤング率を測定します。



圧縮せん断試験

試験体に圧縮荷重を加え、繊維に平行方向のせん断強さを測定します。

試験前のサンプル

試験後の破断したサンプル



試験液
(ホルムアルデヒドが水にとけ込む)



分光光度計による分析

ホルムアルデヒド放散量試験（デシケータ法）

内装材に使われる建材は、シックハウス対策のため、ホルムアルデヒドの放散量に応じて使用量が規制されています。分光光度計を用いて、調製した試験液の吸光度を測定し、ホルムアルデヒドの放散量を定量します。

性能区分	平均値 (mg/L)	最大値 (mg/L)
F☆☆☆☆	0.3	0.4
F☆☆☆	0.5	0.7
F☆☆	1.5	2.1

■ 塗膜性能試験

塗膜の色や光沢、強度、耐摩耗性、耐汚染性などの試験を行っています。



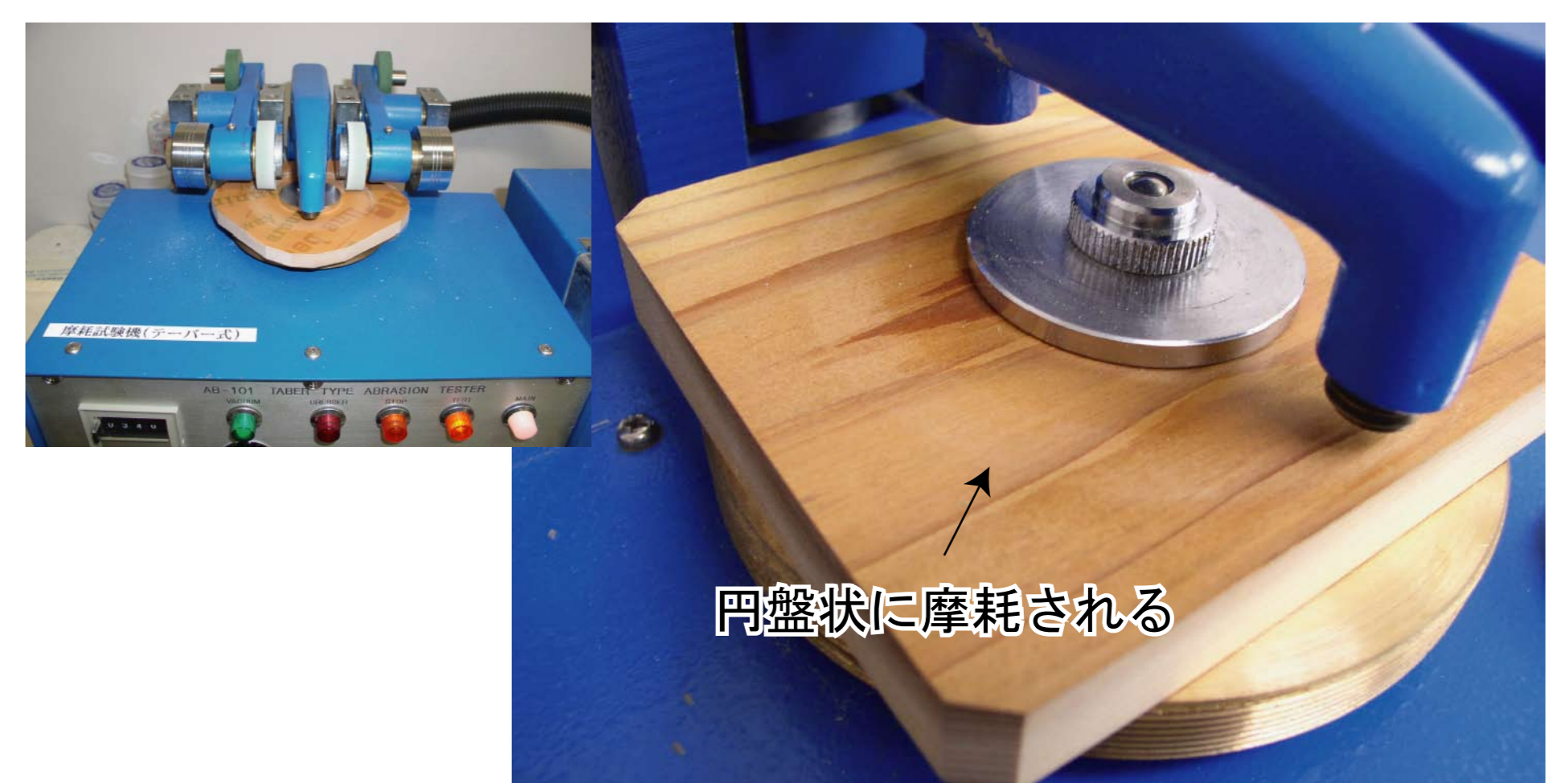
引っかかり硬度試験（鉛筆法）

試験体の塗膜面に鉛筆を一定荷重で押し付けて引っかきます。その結果生じるきず跡などの欠陥を、鉛筆の芯の硬さで表します。



鏡面光沢度試験

光沢計を用いて塗膜の鏡面光沢度を測定します。



耐摩耗性試験（摩耗輪法）

テーバー式摩耗試験機を用い、回転する摩耗輪によって試験体の塗膜を摩耗させ、その耐摩耗性を測定します。

